

教育プログラム・コースの概要

大学名等	慶應義塾大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	小児がんコース（インテンシブコース）						
対象職種・分野	医学研究科大学院生、一般医師、後期研修医、看護師、薬剤師、放射線技師 等						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	小児がんにつき生物学的特性、診断、治療から支援まで領域横断的に理解して、総合的小児がん治療に関与できる人材を育成する						
修了要件・履修方法	・必修科目8単位以上を履修し、臨床実習を修了すること。						
履修科目等	<必修科目> 小児がんセミナー講義（全10単位）、小児がん臨床実習（20時間） <選択科目> 日本小児がん研究グループ（JCCG）報告会、セミナー講義						
がんに関する専門資格との連携	小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会）、小児がん認定外科医（日本小児血液・がん学会）、小児外科専門医（日本小児外科学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	慶應大学の人材、ネットワークを活用し、小児がんの基礎研究、臨床に関する幅広い分野の講師を集めて講演をお願いし、領域横断的な知識を教育するとともに小児がん医療を総合的、俯瞰的に理解できるようにする。						
指導体制	各診療領域の専門家により、小児がんの基礎研究、生物学的特性、がんゲノム、診断、治療、臨床試験、支援など、領域横断的な指導を行う。						
修了者の進路・キャリアパス	都内の小児がん拠点病院もしくは関東・東海・甲信の地域基幹病院に内科系、外科系の小児がんに関する専門医として就任し、総合的な小児がんチーム医療を行う。						
受入開始時期	令和5年9月						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	2	2	2	2	2	2	12
受入目標人数設定の考え方・根拠	都内の2つの小児がん拠点病院に小児血液・がん専門医および小児外科専門医を1人ずつ配置することを目標にし、年間で2人養成する。過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度2人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を毎年2人と設定。						
履修者数 <small>※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0						0